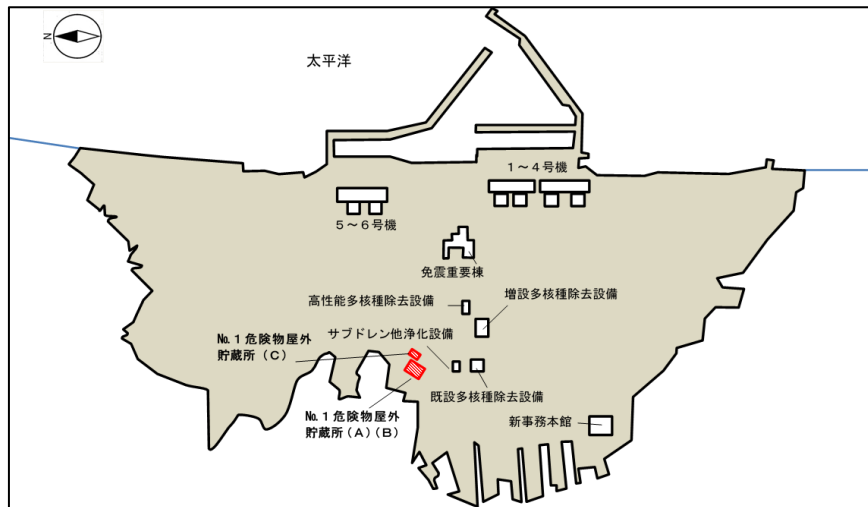


福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和4年2月22日（火）
- 2 確認箇所
No.1 危険物屋外貯蔵所（No.1 A、No.1 B、No.1 C）
- 3 確認項目
No.1 A及びNo.1 C危険物屋外貯蔵所における油漏えい事象の対応状況
- 4 確認結果の概要
昨年12月8日に敷地内のNo.1 A及びNo.1 C危険物屋外貯蔵所に保管されているドラム缶から油が漏えいし、付近の側溝に流出した事象の再発防止対策[※]について、前回（令和4年1月19日）に引き続き確認した。
（図1）（写真1）
 - ・前回の現場確認では、搬入用スロープ部分には土嚢による仮堰が設置されていたが、今回は3箇所とも堰の嵩上げが完了していた。また、雨水を排水するための排水ライン及び排水弁が新たに取り付けられていた。（写真2）
 - ・前回は腐食が進んだドラム缶等には難燃シートによる仮養生が行われていたが、今回は新しいドラム缶への移し替え等が進み、仮養生されているものは見られなかった。（写真3）

※ 車両等から回収した軽油や潤滑油を保管しているNo.1 A及びNo.1 C危険物屋外貯蔵所において、ドラム缶各1本（計2本）に雨水が浸入し、溢れた油が堰の途切れた搬入用スロープ部分から近くの側溝に流出した事象。

原因はドラム缶上蓋の腐食や上蓋キャップのパッキンの破損であり、東京電力では近接するNo.1 Bも含め再発防止対策として、劣化状態に応じてドラム缶や上蓋等の交換、搬入用スロープ部分の嵩上げなどを計画している。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
危険物屋外貯蔵所の概観



(写真2-1)
前回の搬入用スロープの土嚢による
仮堰の状況
(令和4年1月19日撮影)



(写真2-2)
堰の嵩上げ状況
(令和4年2月22日撮影)



(写真 2 - 3)
排水ライン及び排水弁の設置状況



(写真 3 - 1)
前回の難燃シートによる仮養生の
状況 (令和 4 年 1 月 19 日)

(写真 3 - 2)
今回の状況
(令和 4 年 2 月 22 日撮影)



(写真 3 - 3)
新しいドラム缶の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。